

歴史文化の道 ー多摩ニュータウンの尾根筋ー

「よこやまの道」の位置する尾根筋は、古代より武蔵野と相模野の双方を眺められる高台として、また西国と東国を結ぶさまざまな交通の要衝として活用されてきました。

この尾根筋には、鎌倉古道（鎌倉街道早ノ道、鎌倉街道上ノ道、軍事戦略鎌倉道）や奥州古道、奥州廃道、古代の東海道、などの重要な歴史街道（古街道）が縦走、横断し、その痕跡やさまざまな伝説等が語り継がれています。

古代から中世～江戸時代に渡って政治、軍事、文化、産業、社寺・霊地参詣などを目的として、東国～西国間の交易を行なう商人や鎌倉武士団、諸国霊場を行脚する巡礼者や都の貴人、新選組が行き来したと推測され、歴史とロマンを感じるこの道となっています。

よこやまの道の由来

一万葉集にも詠われた防人の道ー

赤駒を山野に放し捕りかにて
多摩の横山徒歩ゆか遣らむ

万葉集（巻二十・四四一七）豊島郡の上丁椋袴部荒虫か妻 宇遲部黒女
この万葉歌は、「赤駒を山野の中に放牧して捕らえられず、夫に多摩の横山を歩かせてしまうのだろうか」という防人の妻の心づくしの歌です。

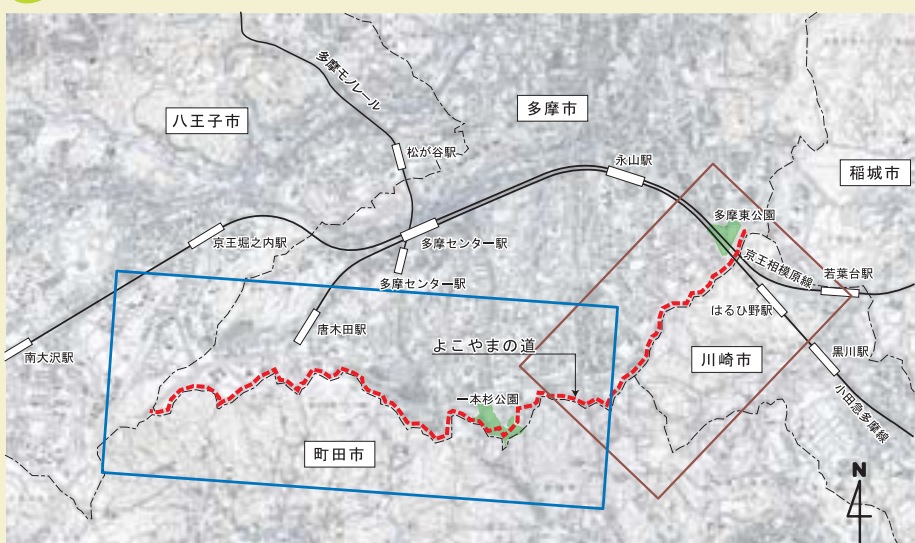
東国から遠く北九州で国防の兵役につく防人は、再び故郷の土を踏むことはほとんどありませんでした。武蔵野を眺望できる横山の尾根道で故郷を振り返りながら、家族との別れを惜しんだ防人の姿が浮かんできます。

『よこやまの道』はこの万葉歌の「横山」から名づけました。

一横に長く連なる尾根のシルエットー

多摩丘陵は武蔵の国府（府中）から眺めると横に長く連なる山々でした。夕暮れにはその姿がシルエットで浮かび、「多摩の横山」、「眉引き山」とも呼ばれていました。

案内図



出典：国土地理院発行の万分の1地形図（東京西南部・八王子）

発行 〒206-8666 東京都多摩市関戸6-12-1
多摩市役所経済観光課
TEL 042-338-6867
発行日 平成27年 3月

本内容の一部または全部を無断で複写・複製することを禁じます。
2015-2

「よこやまの道」は、万葉集において多摩の横山と詠われた多摩丘陵の尾根部に位置し、「多摩の自然と歴史にふれあう道」を基本テーマに整備されました。既存の山路や尾根沿いに残された自然や緑を積極的に活かしながら、樹林内の散策路や休憩広場、多摩市域を一望できる展望広場等が整備され多摩丘陵や多摩ニュータウンの風景とともに、四季折々の自然に親しみ地域に残る史跡や伝説の歴史文化にふれあうことのできる遊歩道です。

「よこやまの道」は、緑地と既存の道路などにより構成されており、ルートは丘の上広場～唐木田配水所までの約10.0kmが整備されています。

歴史観察のポイント

- 1 瓜生黒川往還**
川崎市の黒川と多摩市永山の瓜生を結んでいた往還道です。黒川の「黒川炭」や「禅寺丸柿」などを八王子方面や江戸市中に運ぶのに使われていました。
- 2 古代東海道と丸山城**
古代東海道は現東海道と異なり、相模国府～武蔵国府間は多摩丘陵を通過していました。黒川配水場の高台は丸山城とも呼ばれ、古代東海道の物見や狼煙（のろし）台とも考えられます。
- 3 分倍河原合戦前夜の野营地**
鎌倉幕府滅亡の戦で知られる分倍河原の合戦前夜、幕府軍の北条泰家軍二十万騎の大軍勢は、このよこやまの道の尾根で息を潜めて一夜を明かしたと伝えられています。

- 4 並列する謎の古街道**
地図のない時代、現在地や目的地の方向を知るため、旅人は眺望の利く尾根を通りました。よこやまの道の尾根には数本の古道が並行する大規模な古道跡があります。
- 5 古道五差路**
古道が集まっている五差路です。野津田や金井、本町田へと続く古道が通っていました。交通の要衝であった小野路の宿を避けて鎌倉へ向うことのできる近道の古道だったようです。

地図のマーク

- トイレ
- だれでもトイレ
- 交差点 バス停
- 避難場所
- 広域避難場所

バス停は最寄のものだけ表示してあります。詳細についてはバス会社の各営業所にお問い合わせください。
○京王バス南 多摩営業所
電話 042-357-0031
○神奈川中央交通 多摩営業所
電話 042-678-6550
○小田急バス 町田営業所
電話 042-734-5211

- よこやまの道
- アクセス散策ルート
- 推定古道ルート

注意 「よこやまの道」以外の古道は推定ルートです。危険な崖や私有地などがあり、現在は通行できない箇所があります。

散策距離

鎌倉街道～丘の上広場
3.3km



「防人見返りの峠」からの眺望

よこやまの道東端入口付近

鎌倉街道 0.4km

古道五差路 0.9km

展望広場 0.2km

もみじの広場 0.3km

諏訪南公園トイレ 0.4km

黒川散策路への分岐路 0.2km

永山駅まで 2.5km

諏訪永山ふれあいの道 1.3km

はるひ野駅まで 1.3km

丘の上広場 1.2km

若葉台駅

眺望のポイント

- 1 丘の上広場**
都立桜ヶ丘公園の緑など、多摩市域の東側が一望できます。
- 2 防人見返りの峠**
富士山や丹沢、秩父連山の山並み、浅川沿いの七生丘陵、狭山丘陵まで眺望できるポイントです。

自然観察のポイント

- 1 さくらの広場**
春にはエドヒガンやソメイヨシノが咲き揃います。すぐ近くにはコブシの大木があり、樹冠一杯に白い花をつけ春の到来を知らせてくれます。
- 2 根株移植の森**
根株を根ごと掘りとりて移植し育てる根株移植という方法でつくった森です。伝統的な雑木林管理をヒントにつくられた林の再生技法です。
- 3 里山の散策路**
コナラやクヌギなど、昔は炭や薪の供給林として大切に管理された雑木林が里山の面影のまま残されています。
- 4 ウメの園**
早春には梅が咲き競い、ほのかな香りとともに広場に彩りを与えてくれます。
- 5 常緑樹林の散策路**
人工的な杉と丘陵地の自然林である照葉樹が混ざった常緑樹の静かな散策路です。古道の面影を感じる風景です。

アクセス

- 若葉台駅から丘の上広場まで
徒歩 約10～20分
- 永山駅から丘の上広場まで
徒歩 約20～35分
バス 諏訪四丁目行「諏訪四丁目」下車
聖蹟桜ヶ丘駅行・聖ヶ丘団地行
「陸上競技場入口」下車、徒歩約5分
- はるひ野駅から黒川散策路分岐まで
徒歩 約15～20分



多摩 よこやまの道

赤駒を山野に放し捕りかにて
多摩の横山徒歩ゆか遣らむ

万葉集